



第454回 6/4 Nail Salon Ku_u



代表の鈴木久美子さんをお迎えしました。
市民活動拠点ベテルギウス内にある起業家支援スペース Rigel (リゲル) での2年間を終え、今年4月に大和駅南口から徒歩4分、大和公園とスーパーマルエツ近くのマンション5階に移転してプライベートネイルサロン「Nail Salon Ku_u」を開業されました。体に優しいネイルサロン「体に優しく、爪に優しく、美しく」をキャッチコピーとして、ネイルケアをメインとして施術をしています。完全予約制なので、予約が必要です。予約はHP、インスタグラム、公式ラインなどからできます。



鈴木さんは、今後も「Nail Salon Ku_u」の強みであるネイルケア・フットケアをメインとして、お客様の気持ちに寄り添って、地道にお客さまと一緒にお手入れをしていきたいと思っていますと話して、放送を終えました。

☆7月の出演 第456回 7/2 特定非営利活動法人さくらの森・親子サポートネット
第457回 7/16 NPO法人ゲートキーパー和楽 FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

第455回 6/18 このゆびとまれっ!

「やまとボランティアセンター」の石井順さん、「つきみ野学習センター図書室」の新屋幸枝さん、「大和市民活動センター」辺見弥生さんの出演です。この夏で、三つのセンターで進んでいる事業「中高生夏休みボランティア体験 このゆびとまれっ!」の案内をしました。

「このゆびとまれっ!」は、中高生など若い世代が持つ時間、知恵、技術を出し合い、社会に開けば、みんなの「社会資源」になるという考えに基づき、市民の課題解決に若い世代が関わる社会参加の第一歩として実施している。また、学校の先生や家族以外の「おとな」と親交を持ち、社会との関わり合いの多様性を認識することもねらいとしている。この体験の機会のために、場所と時間を提供して下さる施設や団体の方々のご協力があったからこそ成立する事業です。三つのセンターの得意分野を活かしながら、ボランティアの受け入れ先を選定しています。「今年もいろんな方々とお目にかかれるのがすごく楽しみです。迷ったら電話して、何でも聞いてください。」と呼びかけました。



TSUBASA's トーク 第32回 ツバメの多い街での悩み

ツバメの多い街に住んでいると、昔の楽しい出来事ばかり思い出されて辛い。しかも最近は、朝から元気に「チュピチュピジー」と鳴いて、窓の外から僕の資格の勉強を邪魔してくる。

思い出されるのは、20年前、小学校からの下校の話だ。

当時の私も体を動かすことが好きで、その日も友達と少年と住宅街の歩道を走って帰っていた。普段は息を切らしながらも止まることなく帰るのだが、初夏のツバメの時期にはそうもいかない。通学路で見つけた、民家の軒下にあるツバメの巣を立ち止まって眺めるのだ。そして鳥がいるかを友達の少年と確認する。



巣の中に小鳥が並んでいれば、僕らは親が餌を運んでくるのを待った。昨日はすぐに来たが、今日はなかなか来ない。歩いてくる同級生に次々追い越される。女子の集団に「早く教室出たのに意味ないじゃん」と冷やかされる。「もう先に帰るから」と友達の少年も怒って帰ってしまった。

...という話だ。その後、親鳥が来たのかは覚えていないが、親鳥が来るのを待っていた僕は、小さい巣の中でもぞもぞ動く小鳥たちを見るのが好きだった。振り返ると、自分も小鳥になって待っているようだった。

また最近の出来事ではあるが、岩手で出会った農家のおばあちゃんのことを思い出すこともある。

農業のボランティアをしていたころ、初夏にそのおばあちゃんの家にお茶飲みに行った。洋風二階建ての家の玄関は開放たれていて、出てきたおばあちゃんに「どうぞあがって」と言われる。

玄関に入ると、床のタイルの上に新聞紙が敷かれていて、表面は鳥のふんだらけだ。見上げると、壁にいくつも鳥の巣があり、その一つの中で一羽のツバメがじっとこちらを見ていた。おばあちゃんがそのツバメをみて、毎年来ること、今年は4つ卵があることを教えてくれた。



小学校の通学路



しばらくお互いに無言でツバメを見ていた。そしておばあちゃんは僕なんていないかのように、「つばめちゃん、がんばれよ。少しの辛抱だ」と話しかける。ツバメもおばあちゃんのほうをじっと見ていた。

こうして思い出せばばかりいる。結局今朝も思うように勉強できなかった。(サポーター 尾畑 翼)

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第204号 発行日：2024年7月10日 発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokiyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution (解決) のSです。
第204号 2024年7月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

7月号
2024



ベテルギウス玄関
7月4日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催

「第16回やまと国際アートフェスタ」

入賞作品を毎月掲載しています

今回のテーマ ~ここから、未来へ~

Office Kazu 賞

上嶋 ラムショウ 天蒼(うえしま らむしょう てお)さん
中央林間小学校2年(当時) イギリス

タイトル「みんなの地球」

メッセージ いい気持ちで楽しく描いて、いろんな にちじょうにあるものを がんばって あらわしました

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) * 主催で毎年開催されています。

*「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです。

大和市協働事業提案公開プレゼンテーションが開催

令和6年度「大和市協働事業提案公開プレゼンテーション」が、6月29日に市役所会議室棟会議室で行われました。今回は、来年度から3年間協働事業を実施したい8事業者と市の担当課が一堂に会して実施されました。(全て継続提案)

当日参加した事業者は 下記8団体です。
結の会 NPO法人かながわ難民定住援助協会
渋谷きりん未来の会 地域と市との協働「のりあい」
NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる
NPO法人大和市腎友会 NPO法人たんぼぼ
大和女性防犯会 各事業者と担当課が来年度からどのように活動を行っていきたくプレゼンを行い、大和市協働推進会議委員との質疑が行われました。

「出張！ボランティア総合案内所」を開催

大和市は、ボランティアに少しでも興味、関心のある人が気軽に活動について相談できる窓口として、大和市役所市民活動課内に「やまとボランティア総合案内所」を設置しています。より多くの皆さんにボランティアに関する情報をお届けするため「出張！ボランティア総合案内所」を開催します。ぜひお立ち寄りください。

○とき 7月24日(水) 11時~16時
25日(木) 10時~15時

○ところ イオンモール大和
1階ウォーターコート

*事前申し込みはいりません。
○問合せ 大和市役所市民活動課
Tel: 260-5103



大和市民活動センターは、共に育ち、共に成長する共育（ともいく）の場として2004年11月に誕生しました。「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に謳われた「協働の拠点」です。「社会資源の充実を図る」ことが設置の目的でしたが、さまざまな知恵や情報が集積している、集まって来る、集まって「共に育ち合える、みんなが共生するまち大和市」を創っていくための拠点です。以来、市民活動に関する市民、市民団体、NPO 法人、事業者及び市の交流・共育の推進事業に取り組んでいます。「ともいく」という表現は、いまでこそ多くの方々に認知されているかと思いますが、当時は「ともいく」ってなに？と思われるような、画期的、先駆的な「ことば」、「おと」として意思ある人には届いたことと思います。



そんな中、**共育セミナー**は、2007年2月、「市民活動共育マネジメントセミナー」としてスタートしました。

文字通り、これから市民活動を始めたい、NPO 法人を立ち上げたい、そこまできなくても活動する人を応援したいという人たちのために、ノウハウ、基礎を伝えるために、スタッフがいろいろな伝手を頼ってその道の専門家においでいただき、講義とワークショップ。毎回活気に溢れた場であったと記憶しています。

そして、もう一つ、みなさんの市民活動を伝える場として活用して始まったのが、FM やまとのご協力を得て始まった、ラジオ番組「やまもり☆ホットスクランブル 大和市民活動センターだより **「やまとっこ☆みつけた」**で2007年12月4日にスタートしました。

毎週火曜日の朝、市民活動センターを利用している団体が出演し、それぞれの団体の思いを伝えています。苦労話あり、笑い話あり、失敗あり、人と人の不思議な出会いの話あり。毎回のゲストスピーカーが体験してきたさまざまな想いの詰まった時間として現在も継続しています。（現在は第1・3・5火曜日 本号の4頁参照。本年6/18で第455回を終了）

大和市民活動センターは、今年11月で開館20周年を迎えます。（現在地に移転してからは7年目）それを記念したイベントを12月の「カッコーフェスタ」とは別に、**2025年2月16日（日）に当センターにて記念事業を開催予定**で現在企画を準備中です。みなさんのご協力を是非お願いいたします。未来へ向かう多様な想いを込めた内容にしたいと考えています。



共育セミナーの歩み

- 第1回 2007年2月 仲間づくり・資金づくり
 - 第2回 2007年3月 団体の会計処理
 - 第3回 2007年5月 どうしたら効果的なリーフレットができるか。「情報を伝えるコツ」
 - 第4回 2007年7月 NPOと法人制度
 - 第5回 2007年9月 補助金申請の仕方
 - 第6回 2007年11月 人々が続々集まってくるイベント企画のへそはここにある。「学習センター事業の企画立案をとおして」。「せみのぬげがら鑑定士ができるまで」
 - 第7回 2008年1月 手早く、正確、分かりやすい「決算書」づくりはこうありたい
 - 第8回 2008年3月 市民活動団体と企業・事業者との縁結び
(中略)
 - 第97回 2021年10月 ウイズコロナ、ポストコロナ時代の社会貢献活動青少年、外国人を取り巻く状況と課題
 - 第98回 2022年2月 街場にアートを、音楽を、資源と人を活かす
 - 第99回 2022年7月 「福祉施設におけるアート活動の実践」と「この実践が社会と出会うということ」
 - 第100回 2022年10月 多様化する社会に生きるということ
 - 第101回 2023年2月 スローコミュニケーションすべての「伝えたい」が歓迎されるまちへ
 - 第102回 2023年6月 農山村暮らしで体感したことを伝えたい「緑のふるさと協力隊」(岩手県一関市花泉町)に参加して
- * 97回から102回までは、コロナ禍、市民活動の原点に帰ろうとの企画意図がありました。（現在107回終了）



～やまとっこ☆みつけた～

「ちょっといい話」
FM やまと 500 回放送に向けて
出演団体のイラスト紹介！

「ちょっといい話」というより気持ちの中では「とてもお世話になった話」として今でもハッキリ覚えています。欠かさず「FM やまと」～やまとっこ☆みつけた～を連続して行っている裏には色々な苦労があります。話は9年前「第234回出演は数字から行って5味（五味）さんだね…」なんて冗談を言っていたら…何と当日3月31日（火）は「決算締めの日」何だかんだ行事も入って…参加団体はいない、スタッフも都合悪い…ある日、偶然「引地川水とみどりの会」その五味さんとバッタリ！ 無理を承知でお願いしたら「考えてみましょう！ 内の仲間の“こどもエコクラブ”で参加できるかも…」以前、共育セミナーに講師としてお招きした際 広報チラシに“引地川 五味さんのゴミひろい”なんてタイトルを付けた事を申し訳なく思っています。 望月則男

(この項の文責：船越 英一、イラスト：望月則男)

季節を訪ねて、徒然なるままに（Fの随想）

今年5月、特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎の主催事業で「声に出して読む古典」という講座を受講した。講師は中山律子さんというステキな方。プロボウラーの「さわやか律子さん」を連想する人は多くなかった。中山さんは「ドラマチック・リーディング」という手法を学んで広めている方。なんとなく魅かれたのだが、この日の題材は「枕草子」。古典の中でも最もポピュラーで馴染が深い作品だと思うが。とにかく音読が気持ちよかった。

この講座は、深く学ぶ、文法がどうより、受講生が、季節に応じた自分の想いをみんなの前で語る。自分の失恋話を語るのは少々勇気が必要かもしれないが、多くの方がこどものころの故郷のことなどを語った。苦痛ではない古典の時間だった。こういう授業なら、みんな古典は嫌いにならないのにと考えた。

中山さんは元高校の古典の先生。NHK「光る君へ」のおかげで古典ブームらしい。ドラマは史実と違う部分も多いらしいが、中山さんによると清少納言の描き方は現実に近いらしい。もっともその時代に生きていないので、事実はわからないが。

（枕草子）
春は、あけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこし明かりて、紫だちたる雲の、細くたなびきたる。
夏は、夜。月のころはさらなり。闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも、をかし。雨など降るも、をかし。（秋、冬略）

6月から、「表現することは生きること」という、2022年に、あの手この手の紙面で「福祉施設でアート活動をするということ」というテーマでインタビューをさせていただき、「福祉施設におけるアート活動の実践」と「この実践が社会と出会うということ」というテーマで共育セミナーの講師もお願いした中津川浩章さんのアートセミナーを受講し始めた。

日本では障がいがある人の絵、芸術作品という枕詞がどうしてもついてしまうようだけれど、ニューヨークに行くと、作者が障がいのあるなしなどに関係なく、その作品が気に入って購入してくれるマーケットがあるという。実際、現代アート、アール・ブリュットという作品群と障がいがある方の作品の見分けはつかない。障がいがある人の作品の方がステキに思えることもあるぐらいだから。

セミナーでは、美術史の作品鑑賞をスライドで見た後のワークが半年間続く。仕事帰りで、疲れたからだが、アートの世界に浸るとエネルギーが注入され、だれでも美術作家になれるのだ。（下はアートセミナーの初回に、みんなでリレーして描いた作品とアンリ・ルソーの作品からインスパイアされて創ったFの紙粘土作品）



6月の展示コーナー

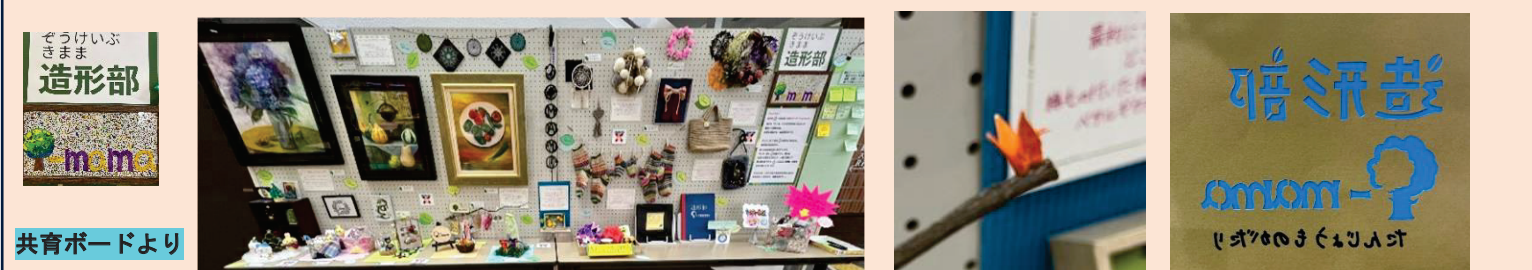
One for all All for one

共育ボードより

★目が丸いねこがすごくかわいいと思いましたほかのねこもすごくかわいかったです！こんど、犬が見たいです★可愛い写真ですね。ありがとうございます★ESTE goTico es muy Lindo★ねこの目がぱちりしたねこちゃんを持ち帰りました。ありがとうございます。小学5年生男子★猫の目がこんなに違う事にビックリしました★かわいい★ねこがかわいくてかいたいなでもうちわかない★ねこちゃん、かわいすぎる★癒★沢山のかわいい写真にいやされました★ねこちゃんがかわいかったです。こんどはいぬをみたいですよ★かわいくていやすれます★かわいいネコちゃんの写真ありがとうございます。沢もらいました。これからも頑張ってください!!★娘と写真を楽しませてもらいました!★写真を集めることにしました♡かわいすぎて…ズッキーニ♡S★かわいすぎてめちゃうちゃいたされまます!!★かわいい猫の写真ありがとうございます。写真いただきました。これからもステキな活動を期待します。女性★たくさん写真頂きました。ありがとうございました。



市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。



共育ボードより

★おりづるみつけたよ！★なんて豊かな世界なのでしょう。美しさと可愛らしさと楽しいアイデアにうれしくなりました★最初みたとき、分かんなかったけど、2回目見たら見つけられた。思ったよりむずかしかった★つる5匹みつけました！めっちゃ小さくてびっくりしました。しかけ本もとってもおもしろかったです！また新しいのてんじ？ていじ？したらまたみつけます！★5つみつけました！皆さん、とても上手で驚きました。特に絵本は完成度高くてビックリ！素敵なサークルですね★おもったより小さくてびっくりしました。またこういうさがすやつがやりたいです★つる5こ見つけました。見つけるのがむずかしうたいへんだったけど見つけたからうれしかったです。次もみつけたいです★ちゃんと5ヶみつけたよ！市子連4名★折りづるみつけましたあ〜しかけ絵本もできました。すごいですね！★みんなが楽しめるアイデアがすごい！ぜひまたやって下さい★ありがとうございました。切り絵すばらしく、小さなツルさん見つけられなくて手伝ってもらいました★おりづるほくもみつけました★ドラゴンかっこよかったよ★さわったのしかかった★どれもすてきな作品でした!!第2回があればまた見にきます★たのしい!!★しかけ絵本すてき!!ほんほんリースかわいい!! 全て作品すばらしい★全部上手だった★凄いですね。趣味を越えて皆さんに教室を開いて下さい！★みつかなかったけどもらったよ♡★どれもステキな作品ばかりとても楽しく拝見させていただきました。折りづる探しても子ども達と楽しみました。3階まほろば教室★楽しそうです★むずかしい、でも楽しい!★折りづるの小ささに感動しました!!のんびりとした雰囲気も好き!!造形部続きますように!!★ちいかわのあみぐるみかともてかわい!!マフラーやぼうしの小物もすてきよくできていてびっくりしました!★🍀—mama—いい名前どの作品もステキ（まだまだたくさんありました）